

水稻「あきさかり」の品質を向上する 水管理方法の検討

農産園芸研究課 作物担当 廣瀬雄作


1

徳島県水稻奨励品種「あきさかり」

気候変動に伴う高温障害対策として、
H28年に奨励品種に採用

* みどり戦略推進課調べ

R5栽培面積2,710ha*と導入が進む一方、
一等米比率は他と比べあまり高くない



全国農業協同組合連合会
徳島県本部HPより


一等米比率向上のためには、
栽培面での対策も必要

あきさかり	キヌヒカリ	コシヒカリ
42.2%	35.5%	45.5%

2

白未熟粒の分類

- 5月上中旬移植の作型は登熟期が高温
 - 高温障害による白未熟粒の増加
- あきさかりは穂数型品種で分けつが多い
 - 籾数が増加しやすく、乳白粒の増加リスクあり



基部未熟粒 背白粒
乳白粒 腹白粒

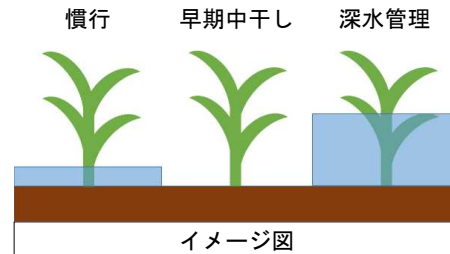
写真は農林水産省より

3

水管理による籾数制限を検討

過剰分けつを抑制

- 深水管理
- 早期中干し



慣行 早期中干し 深水管理

イメージ図

光合成産物の分配効率を高め、
品質向上を狙う

4

試験方法

供試品種 あきさかり
 移植日 5月19日 (2022年)
 5月18日 (2023年)
 施肥方法 全量基肥
 (N:P₂O₅:K₂O=6.0:4.9:5.6)
 栽植密度 15.2株/m²
 (株間22cm×条間30cm)



5

試験区について

慣行

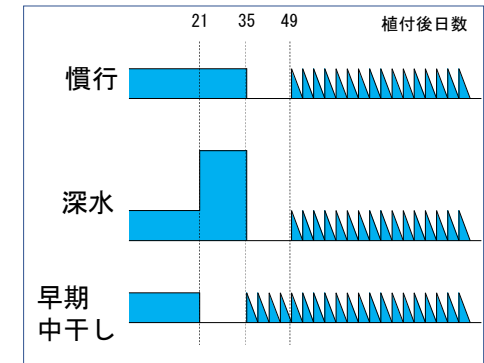
植付後21日～35日は水位3cm
 植付後35日から中干し

深水

植付後21日～35日は水位10cm
 植付後35日から中干し

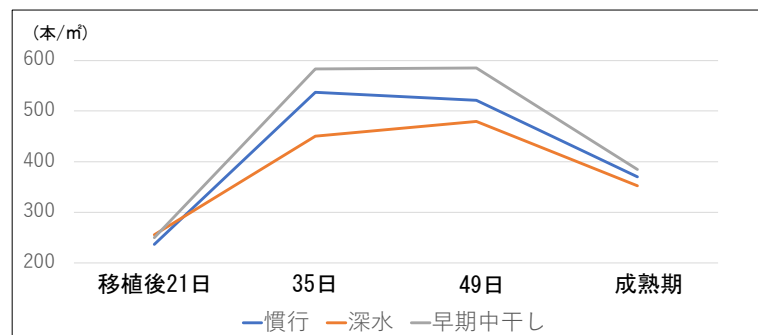
早期中干し

植付後21日から中干し



6

茎数及び穂数の推移



深水 茎数・穂数は抑制

早期中干し 茎数・穂数は抑制されず

7

穂数及び籾数

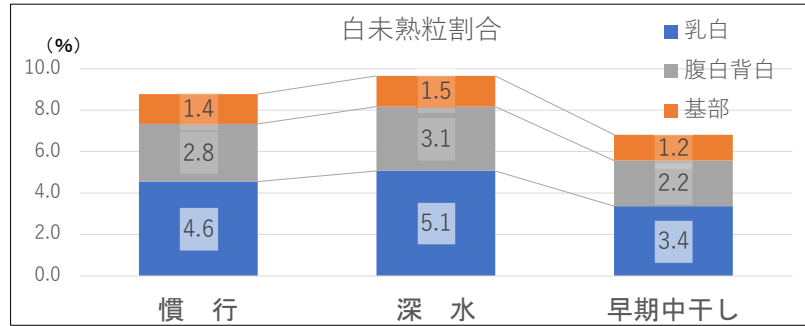
	穂数 (本/m ²)	一穂籾数 (粒)	総籾数 (千粒/m ²)
慣行	370	75.5	27.9
深水	352	77.6	27.3
早期中干し	384	74.0	28.4

深水 穂数は抑制
 一穂籾数は微増
 総籾数は微減

早期中干し 穂数は増加
 一穂籾数は微減
 総籾数は微増

8

白未熟粒割合

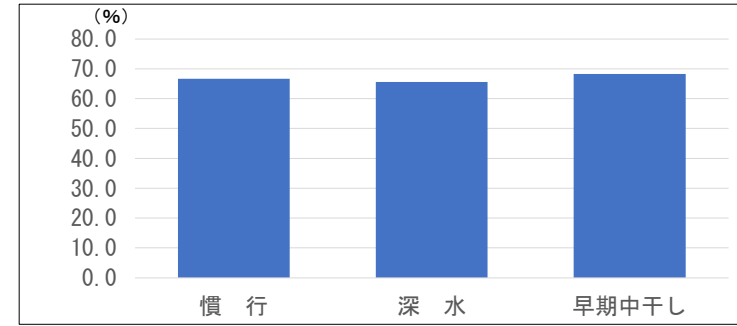


深水 慣行と同程度

早期中干し 主として乳白粒が減少傾向

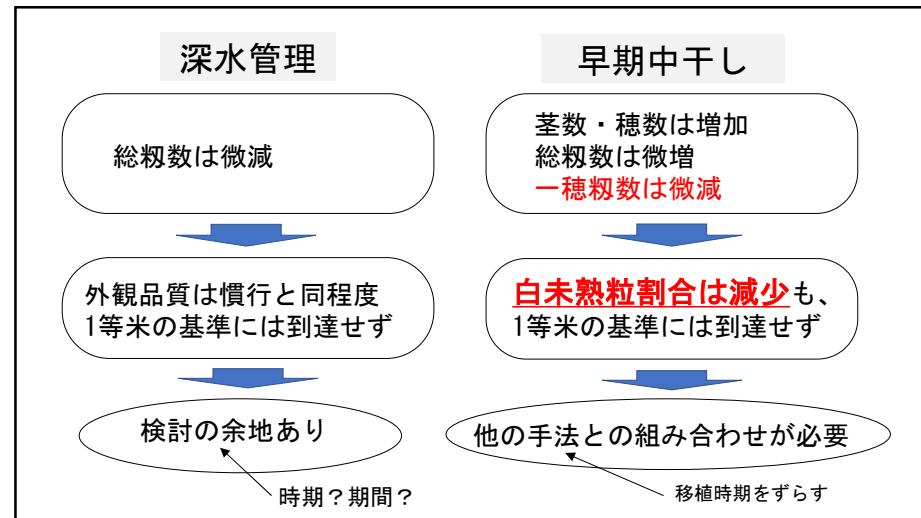
9

整粒歩合



全て70%以下で
二等米の水準

10



11